

# BUILDER ブートによるドライブ文字 消失時の復旧手順書 第一版

本手順書は、BUILDER ブートによりデータディスクのドライブ文字が  
消失したときの復旧手順について記載しています。

第1版 2009 年 4 月

## 【背景】

モジュール #0 をプライマリとして、EXPRESSBUILDER よりブート後 OS Installation を選択した際、その後モジュール #1 をプライマリとして起動すると D ドライブ等のデータパーティションのドライブ文字が消失する現象が発生します。

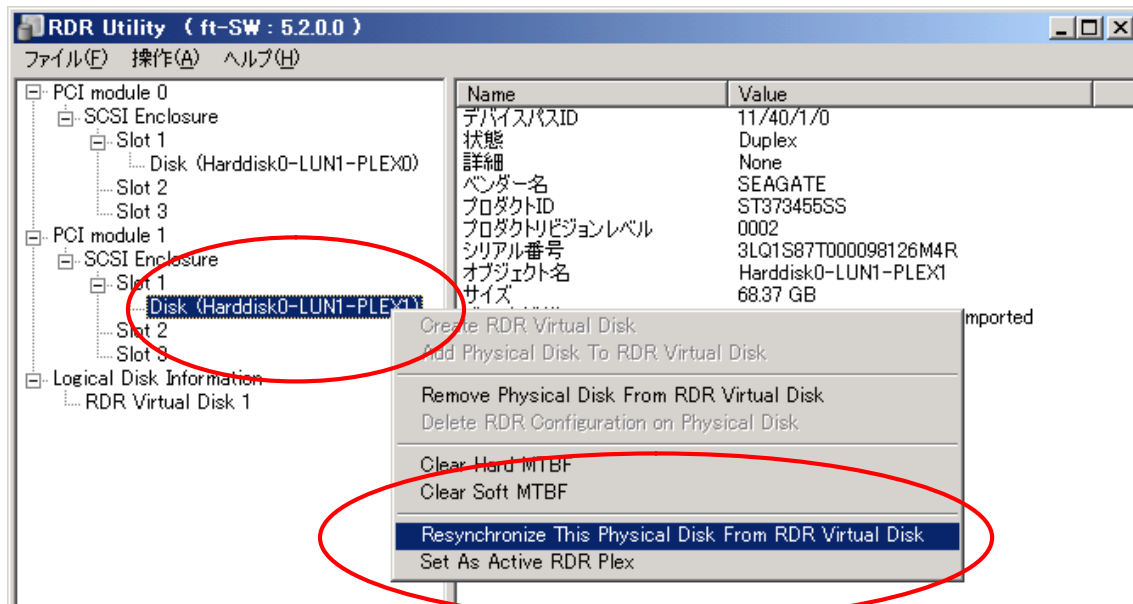
モジュール #0 をプライマリとして記載していますが、モジュール #1 がプライマリの場合には読み替えていただけるようお願いします。

## 【復旧手順】

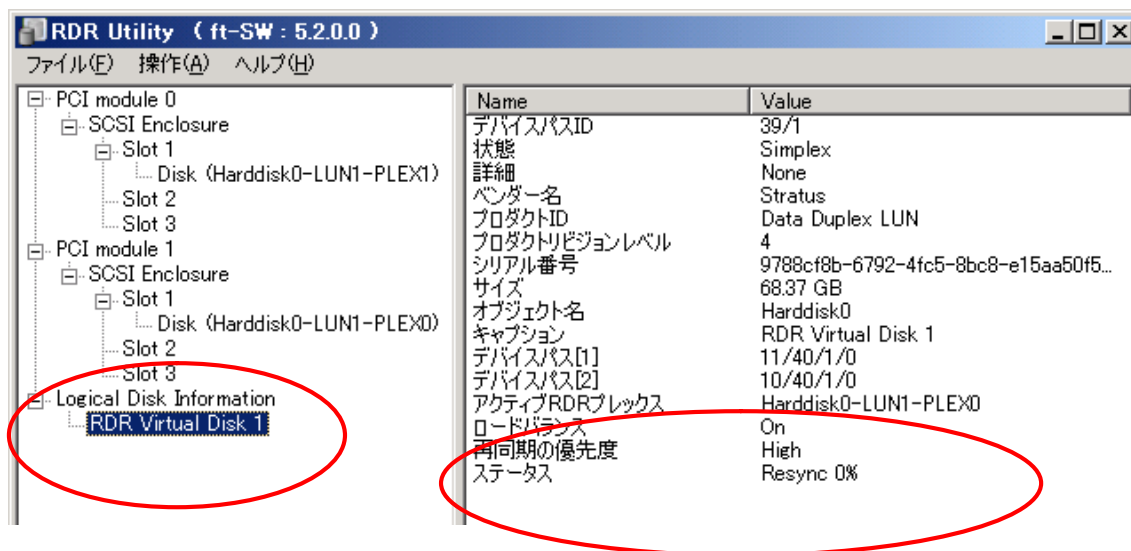
本手順書は、モジュール#0 から EXPRESSBUILDER ブートし、OS Installation の選択後、OS インストールを行わずに FT サーバの再起動を行なった環境を想定しています。また OS Installation 選択後の再起動において、WDT 発生によりプライマリモジュールの入れ替わりが発生することがあります。その際の復旧手順について別々に記載します。

[EXPRESSBUILDER ブート後、モジュール #0 より起動]

1. 現在ドライブ文字は削除されていませんが、モジュール #1 をプライマリとして起動することで現象が発生します。そのため、モジュール #0 のディスクを元にモジュール #1 のディスクへ RDR より再ミラーを行ないます。RDR Utility 起動後、PCI module 1 - slot1 - Disk (Harddisk0-LUN1-PLEX2) を右クリックし、“Resynchronize This Physical Disk From RDR Virtual Disk”を実行してください。

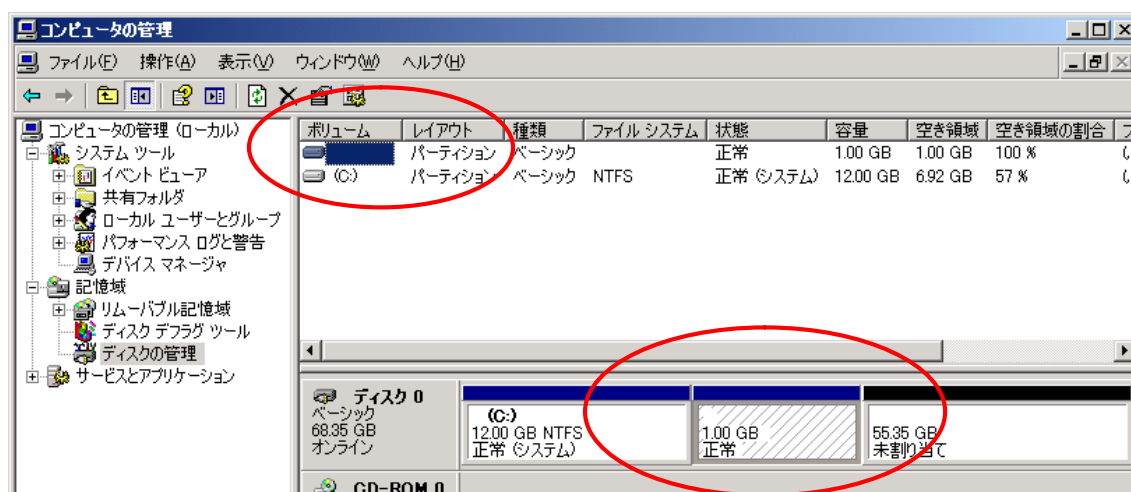


2. ディスクの再同期が始まります。Logical Disk Information – RDR Virtual Disk %1 より再同期が行なわれていることを確認してください。同期処理の進行状況は、左画面の“RDR Virtual Disk %1”をクリックすることで、右画面に表示される”ステータス”の項目から確認できます。

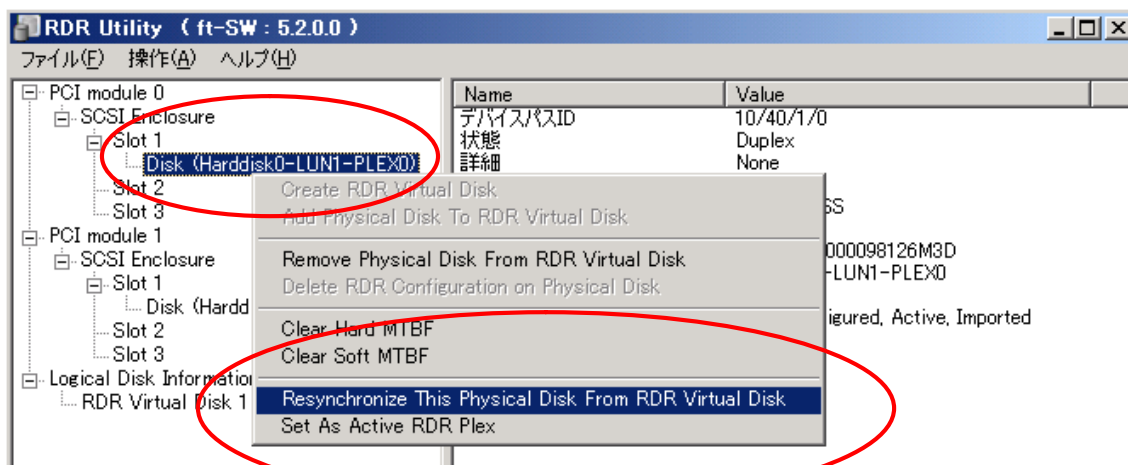


[EXPRESSBUILDER ブート後、モジュール # 1 より起動]

1. コンピュータの管理 - ディスクの管理画面よりドライブ文字を再割り当てします。



2. モジュール #1 側のドライブ文字を割り当てることでモジュール #0 側のドライブ文字が消失する現象が発生します。そのため、モジュール #1 のディスクを元にモジュール #0 のディスクへ RDR より再ミラーを行ないます。RDR Utility 起動後、PCI module 0 - slot1 - Disk (Harddisk0-LUN1-PLEX0) を右クリックし、“Resynchronize This Physical Disk From RDR Virtual Disk”を実行してください。



3. ディスクの再同期が始まります。Logical Disk Information - RDR Virtual Disk %1 より再同期が行なわれていることを確認してください。同期処理の進行状況は、左画面の“RDR Virtual Disk %1”をクリックすることで、右画面に表示される”ステータス”の項目から確認できます。

